

ブランコ

の

うさぎ

とまむし

シヨんけん



2022.01

40

ふゆ号

〔開催報告〕

看護職・介護職リハビリテーションステップアップ研修会  
「摂食嚥下」  
「トランスファー」  
「環境調整」

令和3年度 第2回 事例検討会  
「障害者福祉分野における対象者の生活をささえる支援と連携  
～リハビリテーション専門職の活用～」



【今月の表紙】

リハビリ特化型デイサービスでは、多職種で利用者の方を支援します。地域密着型通所介護  
リハタイムズでは、理学療法士を持った機能訓練指導員がリーダーシップをとって支援を  
行われています。

## 令和3年度 看護職・介護職リハビリテーション ステップアップ研修会



当日は、動画を視聴した後に、質疑応答を行いました。質疑応答では、参加者の日々の実践の中での困りごとに講師が答えるだけでなく、参加者それぞれの立場からの発言もあり、**双方向での意見交換**となり大変有意義な時間となりました。

動画は事前視聴もできたので、当日不参加の方もおられました。来年度以降に参加される方はぜひ質疑応答にもご参加ください。

### テーマ「摂食嚥下」

日時：令和3年11月5日（金）

講師：中島 紀夫 氏（丹後中央病院 言語聴覚士）

参加者：24名



「食べるとは…？」摂食嚥下の基礎から学びました

#### 研修会のポイント

- ・「食べること」とは、栄養補給、生きがい、生活の自立
- ・摂食嚥下障害を予防するためには、「食事姿勢」「とろみ水」「口腔ケア」
- ・口腔ケアを行うことで誤嚥性肺炎の予防、QOLの向上につながる

#### 明日から実践したいことは？

- ・食事の際の姿勢や体位などに配慮していきたい
- ・嚥下体操や口腔ケアを実践していきたい
- ・口腔ケア器具の管理方法に関しても今後検討していきたい

### テーマ「トランスファー」

日時：令和3年11月12日（金）

講師：岡野 光朗 氏

（京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ 理学療法士）

佐藤 一喜 氏

（丹後中央病院 理学療法士）

参加者：22名



介助が楽になる「かもしれない」介助法について  
実際に動画を見ながら学びました

### 研修会のポイント

- ・立ち上がりの3条件は「前かがみ」、「足を引く」、「高さ」
- ・対象者の能力で移乗できそうな声かけを行う
- ・対象者や介助者に合わせた福祉用具の選定や活用をしていく



参加者

リフトを使う上で大切にしていることは、自分たちの体を守るという事だけでなく、**対象者の体を守ることに繋がる**。力任せにしたときの介助者の「はあ・えらっ」といった言葉が対象者を傷つけることにもなるということをほかのスタッフに伝えている。**道具を使うということ**を日常的なものにしていきたいと考えている。

### 明日から実践したいことは？

- ・移乗の際の補助具や福祉用具なども活用していきたい
- ・対象者の能力に合った介助や声掛けを行っていきたい
- ・介助者主導ではなく、対象者の自立に向けたトランスファーを実践したい



## テーマ「環境調整」

日時：令和3年11月26日（金）

講師：小川 雄 氏

（介護老人保健施設リハ・ヴィラなぎさ苑 作業療法士）

参加者：17名

福祉用具の種類や選定方法、住環境調整のポイントについて学びました

### 研修会のポイント

- ・住環境調整はちょっとした「工夫」や「意識」によって行える
- ・高齢者の方は新しい福祉用具や環境に適應するのに時間がかかる
- ・ADL動作に関してはできるだけ現実的なシミュレーションを行う

### 明日から実践したいことは？

- ・対象者の環境や能力に合わせた福祉用具の選定をしていきたい
- ・いきなり住宅改修をするのではなく、安全な生活を送るうえで何が課題なのかをご家族や業者さんも含めて一緒にアセスメントを行い、共通理解をしていきたい



## 令和3年度 第2回 事例検討会

### 「障害者福祉分野における対象者の生活をささえる支援と連携 ～リハビリテーション専門職の活用～」

2021年12月14日（火）

14：00～16：00

19名参加

実践報告

「作業所に通う脊髄小脳変性症の方への関わり  
～相談支援専門員・リハビリ専門職それぞれの立場から～」

リハビリからのアドバイスで  
対象者の身体の負担や生活に  
対する不安の軽減につながった



施設の概要や仕事内容、その環境  
を知ることによってリハビリとしての  
視点を伝えることができた

求められる知識や対応が  
多くなっていた…

就労施設や仕組みを  
理解していない…



廣野 久美子 氏  
京丹後市障害者相談支援事業所 結  
相談支援専門員



平岡 有香 氏  
丹後圏域地域リハビリテーション支援センター  
作業療法士

### 障害者福祉とリハビリ間の連携のためにしていきたいことは…？

- ・モニタリングやケース会議の際に意図的に他職種連携の場を設定したい
- ・丹後圏域地域リハビリテーション支援センターという機関がせっかくあるのに利用しないのはもったいない事。些細な事と思ってもまずは相談してみることが連携に繋がる第一歩かなと感じた
- ・まずはこまめな情報共有が必要。ご利用者の希望する生活を叶えるという目標に向けて、障害者福祉とリハビリ、それぞれの役割を明確にしながら支援していきたい。

#### 編集後記

うさぎのブランコ第40号を迎えることができました。これを記念して、今回からレイアウトを少し見直しました。皆様お気づきになられたでしょうか。丹後中央病院が当地域リハ支援センターを引き継いでから丸10年が経過しました。今後さらに当センターの事業をわかりやすくお伝えできたらと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。(Y.S)

「丹後地域リハ」で検索！



編集/発行：丹後圏域地域リハビリテーション支援センター(公益財団法人 丹後中央病院)  
連絡先：TEL0772-62-8301 FAX0772-62-8302 e-mail tango-rehabili-shien@tangohp.com